メッセージ

十文字学園女子大学
学長　志村 二三夫

本学は地域に根ざす大学として、短期大学の設置以来半世紀近く、地域社会との連携協力につとめ、地域の皆様に支えられ、地域とともに発展してきました。平成26年に文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（ＣＯＣ事業）」に採択されたことを契機に、“新座市をキャンパスに！＋（プラス）となる人づくり、街づくり”を合言葉として、名実ともに地域における知の拠点となることをめざし、大学全体で精力的に取り組んでいるところです。

新座市
市長　並木 傑

十文字学園女子大学と本市が連携して取り組む「地（知）の拠点整備事業」（ＣＯＣ事業）の推進につきまして、貴大学には本市をフィールドとした多分野にわたる研究を展開していただいておりますことに心から感謝申し上げます。「子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）」や「新座っ子ぱわーあっぷくらぶ」、「ふるさとの緑と野火止用水を育む会（ＨＵＧネット）」を始めとする様々な事業で連携を深めているところであり、貴大学にはあらゆる形での地域参画を進めていただいております。

地域で輝く！

町内会より　新座市西分町内会長　長谷川 栄さん

６月に開いた夏祭りには、２日間で延べ80人もの学生さんがお手伝いに来てくれて、とても盛り上がりました。良い意味で予想以上で、とてもいい経験になりました。

私たち運営スタッフも高齢化してきて、大学に声をかけたのですが、地域住民でもない孫ほど年の離れた若者たちが来ることに、最初は不安もありました。ところが、あっという間にみんな仲良くなって、屋台の運営や子供みこしの補助、会場清掃など、若い人の視点で取り組んでもらいました。

次回は、祭りの当日だけでなく、企画の段階から参加して欲しいと思っています。一緒にこれからの地域イベントを作っていければと、今から楽しみにしています。

ゾウキリンくらぶより　ゾウキリンくらぶ部長 幼児教育学科2年 植竹 愛さん

私は、ゾウキリンくらぶでの活動を通して地域とのつながりを作ることができました。地域との関わり方を考え、自分から動いてみることで、今まで知らなかった活動や地域のために働く人が居る事を知り、視野を広められたと感じています。

新座市をキャンパスに！＋（プラス）となる人づくり、街づくり

地域貢献活動による
実践的人材の育成

“想い”を カタチにする力

教育理念

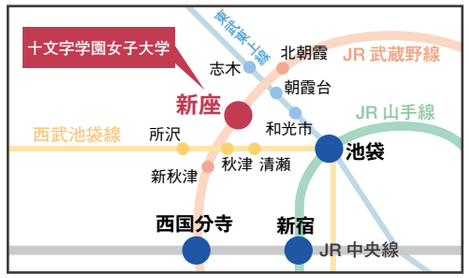
学園歌に本学園の建学の柱が歌われています。この詩について、「身を鍛え心を鍛えること即心身を鍛錬することは、生をこの世にうけた人間が当然努力せねばならぬ第一の必要条件であります。いかなることをなすにも身体が丈夫に鍛えられておらず、また意思が薄弱であるとか、真面目に努力を続けることが出来ぬとかいうようでは、成功するものではありません。まして世の中に出て何か事業をし出そうとか、人の信用を得ようとか、また家庭の人となって夫を助け子供を立派に育て上げようとかいう場合に、どうしてそれが出来ましょう。」と、文華高等女学校交友会誌「文華」第1号（1927年（昭和2年）3月発行）の中で説いており、開学90年を迎えた今でも、その精神は連綿と受け継がれています。

身を鍛へ　心きたへて
世の中に　立ちてかひある
人と生きなむ

● アクセスマップ

【大学】
■ 人間生活学部
- 幼児教育学科
- 児童教育学科
- 人間発達心理学科
- 人間福祉学科
- 健康栄養学科
- 食物栄養学科
- 文芸文化学科
- 生活情報学科
- メディアコミュニケーション学科

【大学院】
■ 人間生活学研究科
食物栄養学専攻



十文字学園女子大学　地域連携推進機構

〒352-8510　埼玉県新座市菅沢2-1-28
TEL　048-477-0555（代表）　FAX　048-478-9367

文部科学省 地（知）の拠点

ともに創ろう！ 地域の「みらい」

十文字学園女子大学
JUMONJI UNIVERSITY

出会い。学び。動かす。

十文字学園女子大学のCOC事業

COC事業（「地（知）の拠点整備事業」）は大学が地域コミュニティの中心となり、課題解決に努めていくという文部科学省の事業です。

本学は平成26年度に採択され、「新座市をキャンパスに！＋（プラス）となる人づくり、街づくり」をテーマに、新座市を中心としたエリアを学外キャンパス「＋（プラス）キャンパス」とし、活動しています。地域と密接に関わりながら教育と研究を往還させ、活力ある地域社会づくりに貢献し、自立した課題解決（pro-act）型の学生を育成します。

地域のニーズを的確に把握し、取り組みによって得られた成果を近隣自治体にも広げていくことで、地域志向の大学「地（知）の拠点」を目指します。

テーマ 新座市をキャンパスに！＋（プラス）となる人づくり、街づくり

大学のシーズ（知的資源） ＋ マッチング ＋ 地域のニーズ（課題）
健康長寿、子育て支援
観光振興、安全・安心など

研　究　　社会貢献

教　育

地域志向教育カリキュラム
「地域を学ぶ」「地域で学ぶ」
「地域に活かす」→地域社会への
関心・理解を深める

実 践

新座市をキャンパスに フィールドワーク
活動を通してコミュニケーション、
実行力、積極性などを培う

地域での学びを
自己成長に

COC事業（フィールドワーク）を通じた学生の社会人基礎力の育成

研 究

■ 地域志向教育研究費
■ 地域連携共同研究所

教員の地域を志向した教育・研究の推進、また、研究分野、組織を超えた連携により、本学及び地域社会の発展に貢献する地域志向研究の深化を目指します。

「ほっとカフェ@十文字」
（オレンジカフェ）での活動

研究報告会チラシ▲

食育授業の様子
（新座市立東野小学校）

にんじんドレッシング
の開発

教 育

■ 地域志向科目
■ 地域学習テキスト
■ 自主社会活動

「地域を学ぶ」「地域で学ぶ」「地域に活かす」の領域で教育課程を構築し、さらに地域貢献活動の一層の強化に取り組み、「学びのPDCA」による自立型学習の確立を目指します。

国語科研究授業
の様子（新座市
立新開小学校）

学生による
新座市長インタビューの様子

地域学習テキスト▲
「いいね！にいざ2017」

COCシンポジウムチラシ▲

ボランティアセンター
学生スタッフによる
ミニイベントの様子

地域の子ども達と
樹木プレート・
草本名札の設置

社 会 貢 献

■ 産官学連携等による活動
■ 学生による地域貢献活動
■ ボランティアセンター

学生が自主的に地域に出て活動をすることにより、社会、地域の発展に貢献、自ら考え行動できる人材の育成を目指します。

産官学連携による
「親子野球教室」

傾聴ボランティア活動

宇都宮大学との交流の様子

地域のラジオ局で学生による番組の企画・制作・放送

学生による手話ソングの披露
「ふるさとにいざ十オータムコンサート」

卒業生のスタッフを中心とした
「プラスママの子育てサロン」を開催

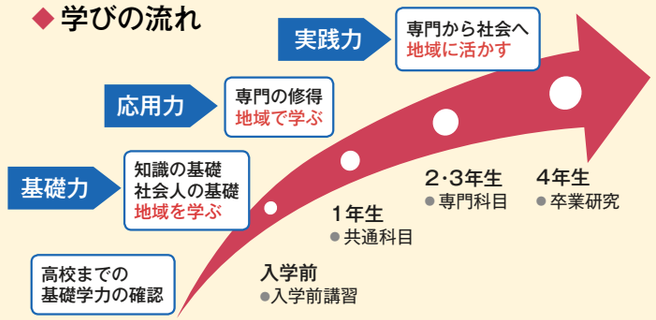
オリジナルスイーツ（ベジパフェ十文字）の考案

十文字学園女子大学 学生育成方針 ―Jモデル・プラス―

「"地的好奇心"に満ちた、活力・実践力のあるpro-act型の学生」を育てます

地域を学ぶ
地域の自然環境や産業、子育てや市民活動等の特徴や課題を理解し、課題解決を通して社会人としての基礎力を養成します。
→ 教　育

地域で学ぶ
地域とのふれ合いや地域活動の経験を通して、コミュニケーション能力に優れた学生を育てます。
→ 研　究

地域に活かす
自らの「可能性＝伸びしろ」に気づき、積極的に地域課題の解決や地域貢献へ取り組む意欲を育てます。
→ 社会貢献

◆学びの流れ